

令和5年度 第1回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月17日（水）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 会議室
- 3 出席委員 須佐勝己会長 大畑耐智子副会長 内山和博 田中亜希子
中村精志 河合さくら（学校支援CD兼務） 高柳桃子（学校支援CD兼務）
- 4 欠席委員 小野田哲也
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員）
土屋明久（可美協働センター長）
- 6 学 校 中村孝夫（校長） 夏目聡美（教頭） 藤井光広（主幹教諭）
長谷川明美（CS担当教諭） 河合昭子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 河合昭子
- 10 開催要件の確認 司会の夏目教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- 11 会長挨拶 昨年度の学校運営協議会評価より、本年度の方向性が示された。
- 12 浜松市学校運営協議会規則の確認
教育総務課 鈴木陽子氏より浜松市学校運営協議会の規則について確認があった。
- 13 議長の選出 司会の夏目教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ
大畑委員より須佐会長を推薦する旨の意見があり、全員異議なく承認した。
- 14 協議事項 (1) 学校運営の基本方針について
(2) いじめ防止のための基本的な方針について
(3) 夢やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- 15 会議記録
(1) 学校運営の基本的な方針について
学校経営方針に基づき校長から説明があった。

それについて委員から、以下の発言があった。
○器楽部が今年度で終了とのことだがその理由は？（田中委員）
→一部活動の地域移行が進んでいる社会状況である。また、会議等で放課後の時間の確保が難しくなっている。（校長より）
○CSを進めていくにあたり、学校側からのニーズを教えてほしい。（須佐会長）
→地域学習で、地域を良く知っている委員の方々に情報を提供してほしい。
(長谷川教諭より)

○畑での活動が今年度よりなくなった。どうすればいいか？（高柳委員）

→3年生から始まる総合的な学習で、お店や人、地域ならではの良さを教えてもらいたい。（長谷川教諭）

→5年生家庭科のミシンの学習で支援してくれる人があるとよい。（長谷川教諭）

○ボランティアをどこまで募集するのか。保護者ばかりにお願いしてもいいのか。

（河合委員）

→ねらいにあった活動にしたいので、学校の先生と相談するのがよい。（長谷川教諭）

○子供の親世代以外の方をお願いするのがよい。地域との関わりが生まれる。

保護者ばかりだと地域学習とは違ってくる。（大畑委員）

○ミシンのない家庭も増えている。地域ボランティアをどのように集めるか検討していきたい。（須佐会長）

○学年を問わず（自分の子の学年以外も）ボランティアを募集するのがよいのではないか。

（田中委員）

○ボランティアの募集方法について 自治会や協働センターにも協力頂いてはどうか？

（須佐会長）

→花壇整備ボランティアを募集したいと考えている。協働センターで花壇ボランティアをされている佐野さんが小学校の花壇にも来て下さる予定である。（校長）

○全てをすぐに実行することは難しいけれど、少しずつ実現していきたい。（須佐会長）

(2) いじめ防止のための基本的な方針について

資料に基づき、藤井主幹教諭より説明があった。

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について。

CS設置校への加算金6万円の用途について夏目教頭より説明があった。

学校教育目標の達成のため、発達支援学級対象の「太鼓教室」、花壇ボランティア。第一線で活躍する大人の姿に触れる。本物に触れる体験（昨年度は落語家、大工さんに来ていただいた。）等のために使いたい。

全員一致で用途について承認された。

16 その他連絡事項

(1) 次回 令和5年9月15日（金）10:00～12:00 会議室

(2) 次回の議長について

須佐会長より第1回と第3回は須佐会長、第2回と第4回は大畑副会長との提案があった。

次回の議長は大畑副会長。